

授業科目 セルフケア看護学演習

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	看護
新谷 恵子、荒木 玲子、栗原 弥生 石山 香織、阿部 勝子、目黒 優子		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【概要・一般目標：GIO】 1. PBLチュートリアル教育では成人の急性期健康障害に焦点をあて急性期看護を理解する。 2. 健康維持を目的とした障害にわたるセルフケアの重要性を理解し、対象の持つセルフケア能力の維持・向上を目指す援助に必要な理論と方法を学ぶ					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. PBLチュートリアル教育により急性期看護を理解する。 2. セルフケアの概念について理解する 3. セルフケア能力を高める理論と概念を理解する 4. セルフケアのレベルと各レベルの低下状態の支援を理解する 5. セルフケアの評価と再獲得を目指す支援を理解する 6. 生活習慣病の予防とヘルスプロモーションの促進について理解する 7. セルフケアの再獲得の支援を事例で理解する					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1から6	1 回から 6 回はPBL事例：急性期看護学			1	PBL、担当：渋谷ほか
7	セルフケアの理解（セルフケア概念、セルフケアの必要性評価）			2	講義：新谷
8	セルフケアに活用できる理論と行動（自己効力感、HLC、エンパワメントほか）			3	講義：新谷
9	セルフケアに活用できる理論と行動（自己効力感、HLC、エンパワメントほか）			3	講義：新谷
10	生命維持、生活基本行動、社会生活レベルのセルフケアおよび各レベル低下と再獲得			4. 5	講義：新谷
11	セルフケアレベルのアセスメントと再獲得を支援する法的システム			5	講義：栗原
12	生活習慣病の予防とヘルスプロモーションの促進			6	講義：荒木
13	セルフケア再獲得の支援事例展開			7	演習：栗原、荒木、石山、阿部、目黒
14	セルフケア再獲得の支援事例展開			7	演習：栗原、荒木、石山、阿部、目黒
15	セルフケア再獲得の支援事例展開			7	演習：栗原、荒木、石山、阿部、目黒
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		セルフケアの再獲得	鈴木純恵	MCメディカ出版	2006・3,000円＋税
参考書		ナースが視る病気	薄井担子	KODANSHA	1994・4,000円
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
試験80%、発言15%、出席5%		授業でできることは限られているので、積極的に予習・復習を行ってください。			